

「外国人早期適応研修カリキュラム」研修案

企業名 (担当者名)	LPK ASIA PASIFIK EKONOMI KOOPERASI ([REDACTED])
テーマ (選んだ理由)	第3章「生活する/住居」 ()

目安時間	項目	内容
	◆事前準備物	(何を揃えますか?) 実習生：カリキュラムのインドネシア語翻訳付き教材 講師：愛知県一宮市のゴミの分別についての資料
	◆到達目標	(到達目標は何ですか?) 愛知県一宮市のゴミの分別について理解する
3分	◆事前課題の確認	(疑問にすぐ答えるのではなく、皆で共有しましょう) ・日本ではどのようにゴミを分別するか? ・各自治体によってゴミの出し方は違うか?
7分	◆ウォーミングアップ	(どんな対話をしますか?) ・インドネシアと日本では、ゴミの出し方は違うか? ・どのようにゴミを分別すればよいか?
50分 (内、小テスト10分)	◆活動内容	(どんなワークをしますか?それはなぜですか?) ・一宮市のゴミの分別に関するパンフレットを見ながら話し合う ・ゴミの分別について、短い感想文を書く (どのように行いますか?) 1. 講師：研修用の翻訳付き教材をもとに作成したパワーポイントを用いる 2. ゴミ分別のパンフレットについて質疑応答をする わからない部分は講師が補足説明をする 3. 実習生の意見を聞く 4. 実習生に短い感想文を書いてもらう 5. GOOGLEFORM で作成した小テスト(選択形式)に答える
<工夫したこと> ふりかえりとして、インドネシア語対応の小テストを実施する →説明して終わりではなく、最後に小テストを行い、各実習生の理解度を確認する。		
<成果と課題>		

コメントの追加 [0岩成1]: これは、2の説明後にまとめて学習者さんからの質問を受けつけるという意味でしょうか? 何についての意見か、講師からの働きかけ方など、もう少し詳しく記載していただけると、モデル実施の参考例として大変有難いです。

コメントの追加 [REDACTED]: 生徒からの感想文をいただく予定です。